



町長日誌

No.39

町長日誌の第39号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

10月16日(月) AM10:00

今、災害の後始末の状況を山下助役と見回って帰ってきました。今日は穏やかな天候で野山もいつの間にか紅葉が進んでいます。一週間前の大荒れが嘘のようです。さて、10月7日から北海道を襲った大型低気圧により漁業を中心に大きな被害が発生しました。興部町においても8日午後1時30分に「災害対策本部」を設置しました。宇津地区には自主避難を一時呼びかけましたが、幸いにも興部川は避難勧告ぎりぎりですぐ増水がおさまり、市街地の避難勧告には至りませんでした。しかし、進む速度の遅い低気圧による雨・風のため町道・農地の決壊、牛舎への浸水、倒木、屋根の破損などがありました。中でも、最も深刻な被害は漁業でサケ定置網などの魚網が深刻な被害を受け、更にはホタテ養殖貝への影響が心配されています。今まで災害は何十年に一度と言われてきましたが地球温暖化が原因なのか？異常な気象が多い気がします。町として出来るだけの予防・警戒などの対応をすることは勿論ですが、皆さん一人一人の日頃からの準備と隣近所のつながりなどが、避難や人命を守ることにとても重要と思います。ご近所に一人暮らしのお年寄りや小さな子供が何人いるか、ご存知ですか？ 災害対策は、懐中電灯や非常食を用意していることだけでなく、小さな範囲の地域内(町内会)でプライバシーを尊重しつつもお互いを認識できていることが重要です。避難した時、誰が居て誰が居ないのか直に分かる地域づくりは結果として“住みよい町づくり”につながると思います。

今回の町長日誌では7日から9日までの警戒体制の経緯について時間を追って書いてみました。

10月7日(土)

- 11:15 暴風・波浪警報が発令
- 18:25 大雨・洪水・高潮警報発令～網走支庁に災害連絡本部設置
- 20:10 網走気象台より過去に例の無い高潮被害の恐れがあると連絡
- 21:30 町長・担当職員役場に詰める
- 23:00 消防署員による高潮等のパトロール

10月8日(日)

- 01:00～03:00 高潮パトロール(沙留海岸にて監視)
- 02:39 満潮～その後引き潮に伴い様子を見る
- 04:14 雄武町全域で停電
- 05:40 北海道電力(株)が非常災害体制を組む
- 06:10 宮下・新町の一部が停電(2時間程度で復旧)
- 07:30 役場で係長以上招集～町内全域パトロール(午前中2回)
- 08:00 興部川の水位が4.24mを越える
- 11:30 興部川沿い自治会長(幸・仲・元・本町、宇津)に状況によっては避難勧告がある旨

を説明する

- 13:00 興部川の水位が特別警戒水位(5.74m)を突破
- 13:30 『災害対策本部』を設置～全職員招集
宇津三興橋上流に大型土のう設置開始
- 14:00 宮下・幸町に小型土のうを消防団・職員で設置を始める
- 16:15 宇津市街住民に自主避難を連絡～宇津集落センターへ
- 17:00 興部川水位が6.23mと最高値になり水位上昇が止まる
- 20:00 職員で全町内パトロール、宇津自主避難を解除

10月9日(月)

- 04:10 興部川が特別警戒水位以下に水位が下がる
- 05:49 強風・高潮警報解除
- 06:50 興部川が警戒水位以下になる
- 10:52 大雨警報解除
- 12:30 「災害対策本部」を解散する、産業振興課、水道課、建設課などは引き続き水処理や復旧作業などにあたる。

以上のような事で、役場としては各関係機関など様々にご協力を頂きながら丸2日間対策を行い、結果として住民生活に大きな支障も無く終えることが出来ました。皆様に深くお礼申し上げ、被害のあった方々に心よりお見舞い申し上げます。この災害での対応の反省を速やかに行い、今後の対策の充実強化を図ろうと考えています。寒くなりますので風邪に気を付けましょう。では、また。



町長のメールアドレスは、mayor@town.okoppe.hokkaido.jpです。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。